

「通常の学級での学びガイド」

こんなことありますか？



- △ 支援が必要な児童生徒が多くて、個別の対応で精一杯で疲労困憊する。
- △ 相談できずに一人で悩んでしてしまう。
- △ この子には特別支援学級等の学びの場の方が良いのではと悩む。
- △ 特別支援教育について、専門的なことは分からないと不安になる。



解決のヒント

- 特別支援や福祉等とつながり、視野を広げチーム支援へ。
- まずは、授業の全体指導の工夫、環境整備からスタートする。
- そもそも何のために？ 育成する資質能力を明確にする。
- つまずきを想定し「どうしたらできるか？」解決策を考える。
- Aさんへの支援は、Bくんにも、全体指導にも有効である。
- Aさんがいることで、教師も他の子どもにとっても学びになる。
- 授業の手立てや教材・掲示物をできるだけ教員間で共有する。
- 日頃から教師がポジティブに関わり、子どものモデルになる。
- 本人へ「どうしたらできたかおしえて？」と問いかける。
- 日頃から本人が小さな自己選択・自己決定を積み重ねる。

・なお、教育的ニーズの視点による「子ども理解」が基本になります。

※教育的ニーズの視点による「支援ガイド」(解決のヒント)を参照